

伊丹市立荒牧中学校 第2学年

みんなが英雄

平成28年12月22日(木) 第31号



いよいよ明日から冬休みが始まります。2学期は大きな行事がたくさんあり、充実した学期だったと思います。冬休みは、新しい年を迎えることでもあり、節目の休みともいえます。家族の人たちと有意義な時間を過ごしてください。

さて、中学校生活も残すところあと1年数ヶ月です。4月からはみなさんが自分自身で進路決定をする年になります。2学期の反省を生かし、学習面や生活面をもう一度見直し、3年生に向けての準備をこれから行ってください。3学期はそのための準備期間と考え、あたりまえのことがあたりまえにできる学校生活(3分前着席・2分前予習など)を過ごしてほしいと思います。

「ビブリオバトル甲子園に出場しました」

2年2組の真嶋千咲さんが、12月18日(日)、神戸市勤労会館で開催された「ビブリオバトル甲子園」(県大会)に出場しました。真嶋さんは市内大会、地区大会を突破し、高校生ばかりの組で頑張って発表しました。結果は惜しくも準決勝敗退でしたが、緊張の中、表情豊かに観客を惹きこむ堂々とした発表でした。

「2学期をふり返って」

2年3組 木島 陽菜

荒中二年生としての2学期。

様々な行事を経験し、すべてに対して感じたのは、〈仲間の大きさ〉と、〈仲間との協力の大切さ〉です。小学生の時にはできても、今では一番難しいものだ、と学習発表会のときに痛感しました。

小学生のときにできていた〈協力〉が中学生になってできない理由、それは、一人一人の意思がはっきりとしてきて、様々な感じ方・考え方の違いが起きるからだと思います。数人が全力で取り組もうと思っても、他の人が適当にしようとする、協力なんてできません。皆でつくりあげれば、良い結果が得られるとわかっているのに、まとまらなかったり、協力しようとしなかったり……。しかし、学習発表会で学んだのは、「仲間」を変えられるのは「仲間」だということです。「仲間」というのは偉大な存在なんだ、と気づきました。

体育大会。二年生は荒中伝統のソーランを踊りました。私は、ソーランリーダーになりました。自分一人で覚えて踊るのも大変でしたが、人に教えるのはもっと大変で、本番に間に合うのかな、と思うこともありました。最初は、種目の一つとして、ただただ踊っていただけでしたが、踊っているうちに、教えているうちに、今までの先輩方を越えて、感謝を伝えたい、荒中の伝統を受け継いで、次の学年にいいパスを渡したいという思いが出てきました。全員がしっかりそれを意識して個人個人の目標としたとき、目に見えてソーランがまとまっていくのがわかりました。

自分のことのように嬉しかったです。私だけでなくみんなが同じ思いを共有できた瞬間が、あの本番だったかもしれません。ソーランを全力で踊ったからこそ、得られたものがとても多かったと思います。

私が特に実感したのは、「伝統の重さ」です。「伝統」という言葉は、安易に使えるものではありません。ずっと前の先輩から引き継がれてきた歴史があるからこそ、今の私たちがこの場で踊ることができるということです。その大切なものを引き継いで次につなげるというのは思っているよりもずっと難しいことでした。本番間近に、全員で練習したとき、リーダーや私一人がどんなに全力で踊っても、それはただの自己満足でしかありませんでした。リーダーは常に謙虚に、いつでも全力で、視野を広く持って、さまざまな思いを持った個人個人とぶつかっていかなければなりません。入場の前から演技が始まり、いつの瞬間も一人ひとりが全力を表現できてこそ「思いが伝わるソーラン」です。それに気づけたとき、「人に伝える」とはどういうことか、どうしたら「伝えることができる」のか、やっと思え始め、表現していくことができたような気がします。

校外学習。一人では実現できないことも「仲間」と一緒なら「不安」は半分、協力すれば発揮できる力は倍以上になります。その「協力の大切さ」を理解し、表現できた機会になったと思います。

今年、私たちは奈良に行きました。活動は、班で計画を立て、行きたい場所を決めて、自転車で移動するという内容です。自転車を使うということは事故になる可能性もあるし、地図を見ても、実際の道では迷うかもしれない、など多くの心配がありました。ですが、班で協力して時間通りに目的地にたどり着くことができ、学年全員が事故もなく終わることができました。安全第一を守り、さらに「時間」をそれぞれが意識して行動できたことが、とてもよかったです。

そして、様々な経験を通して学んだ、「学年委員」としての初めての役割。

最初は、私にできるのだろうか。と思っていたけど、友達に背中を押されて、立候補しました。本当に大変で難しい役だなあとします。自分の頼りなさにも気づかされました。しかし、やる以上は頑張りたいです。これから私の長所を見つけて、それを生かし、もっともっと良いクラスを目指して、みんなと「協力」していきたいです。頼りがいのある人になり、学年で一番のクラスを目標にがんばります。難しいことかもしれませんが、ここで自分自身を成長させられるように、積極的にもっとクラスに関わる努力をします。

学年集会でも何度も確認しましたが、3学期は「最高学年」へ向けての準備期間です。「荒中生」であることを「誇り」に思って、いままでの努力を信じ、「自立」に向けて頑張っていきましょう。

「保護者のみなさまへ」

2学期は体育大会、学習発表会、そして校外学習と大きな行事が続く2学期でしたが、無事に終わることができました。これも保護者のみなさまの協力があってこそと心より感謝申し上げます。

明日から冬休みが始まります。普段なかなかできない進路の話などを子どもたちにしていだければありがたいです。最後になりましたが、よいお年をお過ごしください。